

356T FC特性診断器

- 電流印加法を採用した PEFC/MCFC特性診断器
- 過渡応答測定により、燃料電池の劣化要因を分析
- 付属のPCソフトで、356Tの設定および測定データの保存と解析が可能



PEFC/MCFCの等価回路から6個のパラメータを含む特性診断式が導かれます。この特性診断式にフィッティングさせることにより、抵抗分極・拡散分極・活性化分極に関するパラメータの値が求められ、パラメータ値の変化傾向から電池特性を診断することができます。

電流印加法は、従来の交流インピーダンス法などの特性試験に比べて、簡便および短時間で電池特性の診断が行えます。

本体価格(税別) 160,000円 PCソフト付

測定回数を指定できます。
測定回数が2回以上の場合、グラフとデータ表示は平均値を表示します。

《 PCソフト画面例 》

測定回数(1~20) : 1 回

電流 1.0 A

● 2007/08/09, 10:41:58
● ファイル名:C:\W356T\2007-08-09\2007-08-09_104157.csv
=> 収集しました
1090, 全データ件数
288, データ取得数
1, 0.0 < t <= 0.001000 のサンプル数
2, 0.001000 < t <= 0.025000 のサンプル数
35, 0.025000 < t <= 0.1 のサンプル数

収束しました

特性診断式の初期値およびパラメータ表示

試験電流値

計算結果の情報を表示します。
計算データのファイルとログファイルが、専用フォルダに保存されます。

《 356T 本体 》



測定



測定データを出力

特性診断分析表示



CLOSE UP